

学校だより

第35号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和8年3月19日(木) 発行
児童数 291名 実家庭226戸



卒業式を終えて

本日の卒業式は感動的なものとなりました。主役である卒業生はもちろんのこと、式に参加した4年生、5年生も大変立派な姿で、全職員そして子供たち、みんなで創り上げた卒業式だったと感じています。

学校は、机上の勉強だけでなく、マナーや礼儀などを学ぶ場でもあります。場にふさわしい態度を覚えたりや感謝する気持ちをもったりすることは、教科書には載っていませんが、人として大切なことだと思っています。集団で生活している学校という場だからこそ学べることであります。卒業式の練習や、当日の子供たちの姿を見ていて、改めてそう感じています。



～学校長式辞 抜粋～

私が皆さんと過ごしたのは、二年という短い時間でしたが、一番印象に残っているのは、五年生の時に行った宿泊学習です。ウォークラリーやキャンプファイヤーなど、みんなで協力し合って頑張る姿を見て、ものすごくエネルギーがある学年なのだと確信しました。そして、それは最高学年になり、多くの場で発揮されました。

五月の運動会で見せたパワフルな走りや、躍動感あふれる勝倉ソーランは下級生のあこがれとなりました。十一月のふるさと祭りでは、勝倉小学校初の「駄菓子やチャレンジ」に挑戦。駄菓子の袋詰めや売り方を工夫するなど、生き生きと活動し、行事の成功に大きく貢献しました。その他にも、毎朝、正門でかわしたあいさつ、東京遠足、一緒に練習した合唱や校長室で食べた給食など、様々な場面でのみなさんの笑顔が心に浮かびます。

皆さんは、これから、より大きな集団で生活し、たくさんの人と関わっていきます。新たに友達もできることでしょう。これから出会う人達はさらに皆さんを成長させてくれる存在になるはずです。

将来が予測困難と言われる中、これから必要な力は、自分で判断して行動する力、そして仲間と協力し合う力です。人のせいにしたり周りに流されたりせずに、しっかりと自分で判断できる人になってください。また、人と関わる中で、本当のやさしさや思いやりを学んでほしいと思います。苦しい時に人に助けられた経験をもつ人は、きっと別の場面で、人を助けることができるはずです。

皆さんは、国語の授業で、それぞれが心に響いた名言を書き、教室に掲示していましたね。それらの言葉は、自分自身に言い聞かせているのも、また、これまでの経験から感じたものだったのだろうと想像します。小学校卒業にあたり、私から皆さんにひとつの名言を贈ります。

心が変われば 行動が変わる
行動が変われば 習慣が変わる
習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる

人は、自分の意志で変わろうと思えば、行動し続けていけば、なりたい自分になることができます。これからの皆さんが、様々な人と出会い、多くの経験を通して、成長し続けていくことを楽しみにしています。